

次期「とくしまブランド戦略」骨子(案)

1. 趣 旨

グローバル化の進展や競合ブランドの台頭はじめ、大きく変化する時代潮流に対し、「とくしまブランド」を将来にわたり、守り、発展させていくために、世代や団体の枠を超え、「オール徳島で新たな時代に挑戦」を基本コンセプトに「次期ブランド戦略」を構築し、世界に通じる日本のトップブランドとして、確固たる地位の確立を図ります。

2. 取組期間

平成27年度から平成30年度までの4年間

3. 戦略の構成

(1)「4つの挑戦」

①「トップブランド」への挑戦

国内外にアピール力と信頼を高めるため、本県の代表品目について、品質基準づくりや加工業務需要拡大など品目ごとの「個別戦略」による施策の重点化や品質、安全・安心の更なる追求による「とくしま特選ブランド」の充実を推進します。

②「東京一極集中」への挑戦

「VS東京」の共通コンセプトに基づき、本県の「食」や「おもてなし」を強かにアピールするため、大都市圏のとくしまブランド協力店やアンテナショップなどを活用したイベントやプロモーション活動を展開します。

③「産地構造改革」への挑戦

大手量販店の仕入れの大ロット化に対応する「産地間連携」、作業の分業化や水稻から野菜への転換などによる「野菜団地づくり」、中山間地域などで観光やICT分野と連携した「地域ブランド」の創出に取り組みます。

④「サポート体制構築」への挑戦

戦略全体の推進エンジンとして、生産者団体はじめ、メディア関係者やクリエイターなどを結集し、地域ビジネスの育成、イベントやプロモーション活動、企業や店舗への営業活動を担うサポート体制の構築を図ります。

(2)「連携施策」

①6次産業化、海外輸出促進

ハラール対応による新たな輸出市場の開拓や高付加価値化など海外輸出と6次産業化を促進します。

②新技術、商品開発、人材育成

新たな品種・技術の開発促進とともに、徳島大学等と連携し、6次化や地域づくり、グローバル化を担う人材育成を図ります。

③生産基盤強化

優れた農業基盤の整備や保全を強かに推進します。

④食育・地産地消推進

食や農林水産業への理解促進と県産農畜水産物の消費拡大を図ります。

4. 今後のスケジュール案

平成27年2月	2月議会で素案を説明
平成27年3月	パブリックコメントの実施
平成27年6月	6月議会で報告